

MOOC(大規模オンライン公開講座)に関する 意識調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>

目 次

1. 調査概要	3
2. 回答者属性	4
3. まとめ	8
4. アンケート結果にみるポイント	9
5. アンケート調査結果 GTグラフ	12
GT表	29
クロス表	47

1. 調査概要

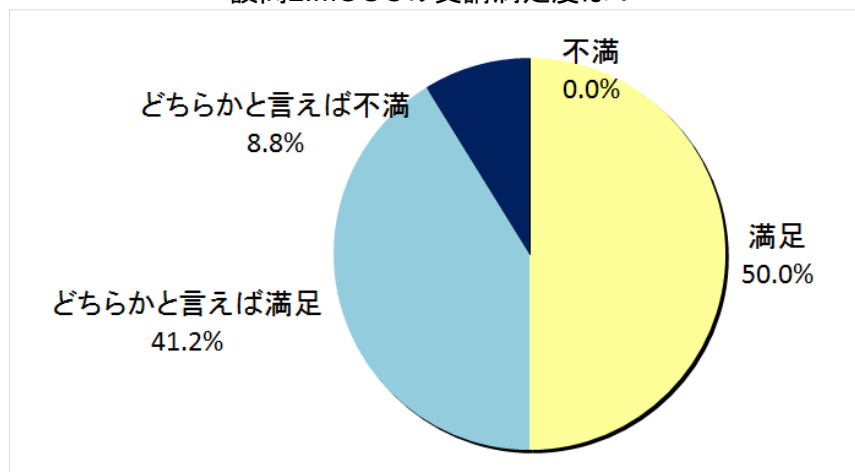
eラーニング戦略研究所は、大規模オンライン公開講座「MOOC（ムーク）」を知っている・名前を聞いたことがあると答えた全国の18～69歳の100名を対象に、MOOCに関するアンケート調査を実施しました。（有効回答数100）

＜アンケートはMOOC受講経験者、受講はしていないが興味がある人、興味がない人の3グループに対して実施＞

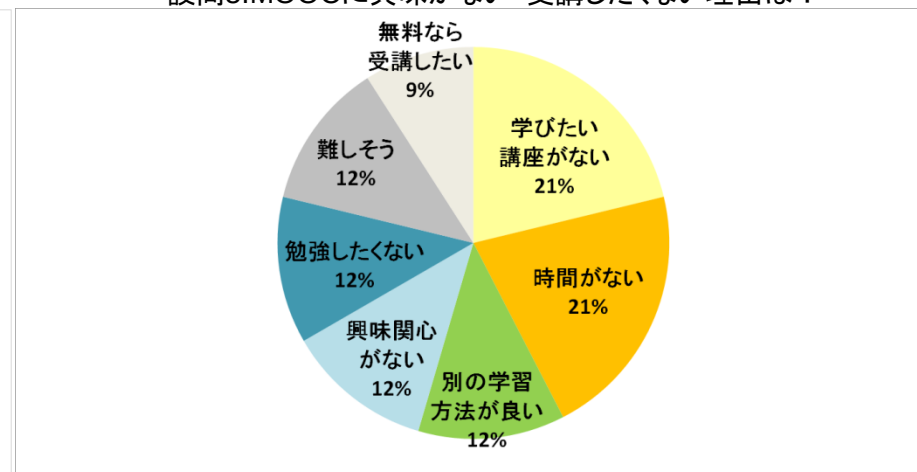
その結果、MOOCを受講したことのある人の受講満足度は「満足」「どちらかと言えば満足」が合わせて91.2%で、極めて高いことが明らかとなりました。カリキュラム内容と利便性の高さが高い満足度につながっているようです。一方、MOOCに興味がない・受講したくないという人からは、「受けたいと思う講座がない」「忙しく時間が取れない」という理由が多く挙げられました。一流大学の講座が学べるということで、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいます。

「どこのサイトで受講できるか教えてほしい（20代女性）」「日本語でも開講してほしい（40代男性）」「オンデマンド方式の講座配信を望む（60代男性）」といった意見からもわかるように、MOOCについては何となく知っていても日本版MOOCである“JMOOC”の存在や具体的な受講方法を知らない人もまだまだ多いことが浮き彫りとなった今回のアンケート。今後、参加大学が増えて講座が充実し、JMOOCがより拡大すること、そして認知度が上がることにより、受講者が急増する可能性も考えられます。アンケートではそのほか、MOOCに対する期待や課題なども明らかとなり、今後の動向が注目される結果となっています。

設問2.MOOCの受講満足度は？



設問5.MOOCに興味がない・受講したくない理由は？



2. 回答者属性

アンケート調査概要

調査期間 : 2014年6月12日(木)～6月13日(金)

調査方法 : Webアンケート方式

調査対象 : MOOCを知っている・名前を聞いたことがあると答えた全国の18～69歳 計100名

性別内訳 : 男性54名(54%)、女性46名(46%)

年代別内訳: 10代1名(1%)、20代18名(18%)、30代18名(18%)、40代31名(31%)、50代21名(21%)、60代11名(11%)

MOOC受講歴: MOOCを受講している・受講したことがある-34名(34%)、
MOOCを受講したい・興味がある-33名(33%)、
MOOCに興味がない・受けたくない-33名(33%)

性別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	男性	54	54.0%
2	女性	46	46.0%

年代別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	10代	1	1.0%
2	20代	18	18.0%
3	30代	18	18.0%
4	40代	31	31.0%
5	50代	21	21.0%
6	60代	11	11.0%

MOOCを知っているか

		N	%
全体		100	100.0%
1	詳しく知っている	25	25.0%
2	知っている	23	23.0%
3	名前を聞いたことがある	52	52.0%

MOOCを受講したことがあるか

		N	%
全体		100	100.0%
1	受講している、したことがある	34	34.0%
2	受講したい、興味がある	33	33.0%
3	興味がない、受けたくない	33	33.0%

都道府県別

全体		N	%	全体		N	%
全体		100	100.0%	全体		100	100.0%
1	北海道	3	3.0%	25	滋賀県	1	1.0%
2	青森県	0	0.0%	26	京都府	3	3.0%
3	岩手県	1	1.0%	27	大阪府	10	10.0%
4	宮城県	1	1.0%	28	兵庫県	2	2.0%
5	秋田県	1	1.0%	29	奈良県	1	1.0%
6	山形県	0	0.0%	30	和歌山県	1	1.0%
7	福島県	2	2.0%	31	鳥取県	1	1.0%
8	茨城県	1	1.0%	32	島根県	0	0.0%
9	栃木県	1	1.0%	33	岡山県	4	4.0%
10	群馬県	0	0.0%	34	広島県	1	1.0%
11	埼玉県	5	5.0%	35	山口県	0	0.0%
12	千葉県	4	4.0%	36	徳島県	0	0.0%
13	東京都	22	22.0%	37	香川県	0	0.0%
14	神奈川県	10	10.0%	38	愛媛県	0	0.0%
15	新潟県	1	1.0%	39	高知県	0	0.0%
16	富山県	1	1.0%	40	福岡県	0	0.0%
17	石川県	2	2.0%	41	佐賀県	0	0.0%
18	福井県	0	0.0%	42	長崎県	0	0.0%
19	山梨県	0	0.0%	43	熊本県	2	2.0%
20	長野県	3	3.0%	44	大分県	0	0.0%
21	岐阜県	2	2.0%	45	宮崎県	0	0.0%
22	静岡県	3	3.0%	46	鹿児島県	1	1.0%
23	愛知県	8	8.0%	47	沖縄県	1	1.0%
24	三重県	1	1.0%	48	海外	0	0.0%

3. まとめ

大規模公開オンライン講座「MOOC(ムーク)」——基本的に無料で講義を受講でき(※)、住んでいる国や地域、時間的制約を超えて誰でもインターネット上で受講可能な点が大きな注目を集めています。2012年より、スタンフォード大学やハーバード大学などの超一流大学をはじめとする世界中の大学の講義が次々と公開され、世界中から1000万人以上が受講していますが、英語による講義は多くの日本人にとってはハードルの高い側面もありました。しかしながら、日本でも2014年4月より一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)による国内大学の講義配信がスタートし、注目されています。そこで今回は、MOOCを知っている・名前を聞いたことがあると答えた全国の18～69歳の100名を対象に、MOOCに関するアンケート調査を実施しました。(アンケートはMOOC受講経験者、受講はしていないが興味がある人、興味がない人の3グループに対して実施)

その結果、MOOCを受講している・受講したことがある人は、その全員が国内の日本版MOOC(JMOOC)を受講していることが分かりました。とくにJMOOC公認の配信プラットフォーム「gacco(ガッコ)」の受講者が多く、その受講満足度は「満足」「どちらかと言えば満足」が合わせて91.2%で極めて高いことが明らかとなりました。カリキュラム内容と利便性の高さが高い満足度につながっているようです。

また、MOOCを受講したことはないが興味があると回答した人は、海外の大学も含めさまざまな大学のさまざまな講座を学んでみたいと考えていることが明らかとなりました。海外の授業でも自宅で気軽に受けられるというMOOCの特長が好意的に受け入れられているものと推察されます。

一方、MOOCに興味がない・受講したくないという人からは、「受けたいと思う講座がない」「忙しく時間が取れない」という意見が多いほか、学習自体に意欲や関心がない人、MOOCは知っているが詳細がわからない人も少なくないことが分かりました。一流大学の講座が学べるということで、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいます。

「どこのサイトで受講できるか教えてほしい(20代女性)」「日本語でも開講してほしい(40代男性)」「オンデマンド方式の講座配信を望む(60代男性)」といった意見からもわかるように、MOOCについては何となく知っていてもJMOOCの存在や具体的な受講方法を知らない人もまだまだ多いものと考えられます。今後、参加大学が増えて講座が充実し、JMOOCがより拡大すること、そして認知度が上がることにより、受講者が急増する可能性も考えられます。また、MOOCの特長のひとつに修了証が発行されることが挙げられますが、この修了証が就転職時に活用できるようになるなど、社会的に認められる仕組み作りへの期待も見られます。まだまだ始まったばかりのMOOC・JMOOCの今後の動向に注目したいところです。

(※)一部本格的な参加者同士のディスカッションや修了証の発行は有料の場合もあります。

4. アンケート結果にみるポイント

- MOOC・JMOOCの受講満足度は91.2%！
- 「カリキュラム内容」と「利便性の高さ」に高評価

MOOCを受講している方、受講したことがある方に、どのような講座を受講したかを尋ねた。その結果、回答者全員が国内の日本版MOOC(JMOOC)を受講していることが分かった。海外のMOOC受講経験者は5.9%だった。講座別に見ると、歴史、インターネット、プログラミング、英会話などが多く、とくにJMOOC公認の配信プラットフォーム「gacco(ガッコ)」の受講者が目立つ。大学は東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学が中心でさほど多くはない。海外ではハワイ大学が挙げられている。

気になる受講者の満足度はどれくらいだろうか？

アンケートの結果、「満足」「どちらかと言えば満足」が合わせて91.2%だった。「興味深い知識を入手することができた(40代男性)」「カリキュラムが良かった(40代女性)」「わかりやすい(20代男性)」という意見のほか、「都合のいい時に受講できる(60代男性)」「ネットで勉強できて便利(20代女性)」「資格が取れた(50代男性)」などが高い満足度の理由に挙げられた。

これからも受講を続けるかどうか尋ねたところ、「続ける」が70.6%で最多となった。とくに女性の85.7%が「続ける」と回答している。「教養を得られて楽しい(40代女性)」「他にも知りたいことが出てきた(40代男性)」など、知的好奇心を刺激された回答者が継続的な受講を希望している。また、「ネットで手軽に勉強できる(20代女性)」「いつでもどこでもできる(30代男性)」など、利便性も高く評価されている。一方、継続受講をためらう理由は、「時間が取れない(30代男性)」「金銭的負担が大きい(30代女性)」「日本語か字幕がなければ理解できない(20代男性)」などとなった。

以上の結果から、MOOC受講者の満足度は91.2%と極めて高いことが明らかとなった。カリキュラム内容と利便性の高さが高評価につながっているようだ。また、継続受講を希望する人も7割で、MOOCのリピーター率は高いと言える。無料のJMOOCがより拡大・普及することで、新たな受講者、リピーター受講者はさらに増える可能性があるものと考えられる。

- MOOCを受講したい人は学習意欲が高く幅広い講座に興味関心
- MOOCを受講したくない人の理由は「学びたい講座がない」「時間がない」

MOOCを受講したい方、興味があると回答した方へどのような講座を受講したいか尋ねた。

講座内容としては、語学や環境問題、コンピュータサイエンス、宇宙物理学、心理学など幅広い。大学名も海外の大学も含め、さまざまな名前が挙げられた。

次に、MOOCに興味がない、受講したくないと回答した方へその理由を尋ねた。

その結果、「学びたい講座がない」「時間がない」が最多でそれぞれ21%、「別の学習方法が良い」「勉強したくない」「興味関心がない」「難しそう」も12%ずつとなった。

以上の結果から、MOOCを受講したことはないが興味がある人は、さまざまな大学のさまざまな講座を学んでみたいと考えていることが明らかとなった。海外の大学名も挙げられており、海外の授業でも自宅で気軽に受けられるというMOOCの特長が好意的に受け入れられているものと推察される。一方、MOOCに興味がない・受講したくないという人は、受けたいと思う講座がない、仕事等で忙しく時間が取れないという意見が多い。そのほか、学習自体に意欲や関心がない人、MOOCは知っているが詳細がわからない人も少なくないようだ。対面式のリアル授業や本などによる独学が良いという声も見られた。一流大学の講座が学べる反面、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいるようだ。

■「日本版の拡大」「修了証が社会的に認められるシステム作り」に期待感

■“講座の充実” “認知度向上”でMOOC・JMOOCの受講者急増の可能性も

最後に、回答者全員にMOOCに今後期待することや課題を尋ねた。

「無料だからどんどん試したい(60代女性)」「日本版の拡大に期待している(40代女性)」など、MOOCに対する期待は約4割に上った。「卒業証書が社会で役に立つシステムを構築してほしい(40代男性)」など、修了証が社会的に認められる仕組み作りへの期待も寄せられている。

一方、課題としては「資格試験に挑戦できる授業を受けたい(60代男性)」「大学を増やしてもらいたい(20代男性)」など、“講座の充実”を挙げる人が全体の2割以上で多かった。また、「新聞などで大きく取り上げ一般の人でも入りやすいようにしてほしい(30代女性)」「いろんなサイトのシラバスまとめサイトがあれば助かる(50代男性)」など認知度の低さを指摘する声も見られた。

「どこのサイトで受講できるか教えてほしい(20代女性)」「日本語でも開講してほしい(40代男性)」「オンデマンド方式の講座配信を望む(60代男性)」といった意見からもわかるように、MOOCについては何となく知っていてもJMOOCの存在や具体的な受講方法を知らない人もまだまだ多いものと考えられる。今後、参加大学が増えて講座が充実し、JMOOCがより拡大すること、そして認知度が上がることにより、受講者が急増する可能性も考えられる。また、MOOCの特長のひとつに修了証が発行されることが挙げられるが、今後、この修了証が就転職時に活用できるようになるなど、社会的に認められる仕組み作りへの動向が注目される。

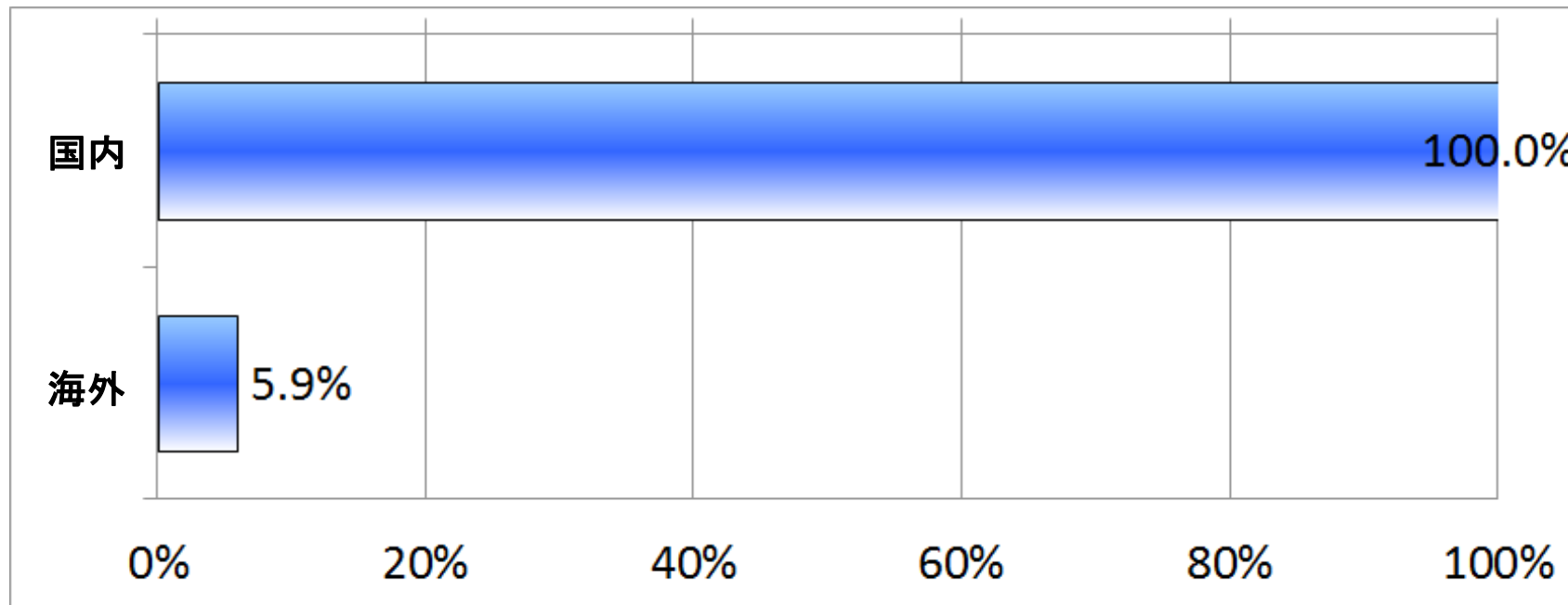
5. アンケート調査結果

G T グ ラ フ

■設問1

どのような講座を受講しましたか？（複数回答可）

【国内・海外別】



N=34

- ・受講経験者の100%が国内の日本版MOOC(JMOOC)を受講している。
- ・海外のMOOC受講者も5.9%。

【受講した大学名・講座内容】

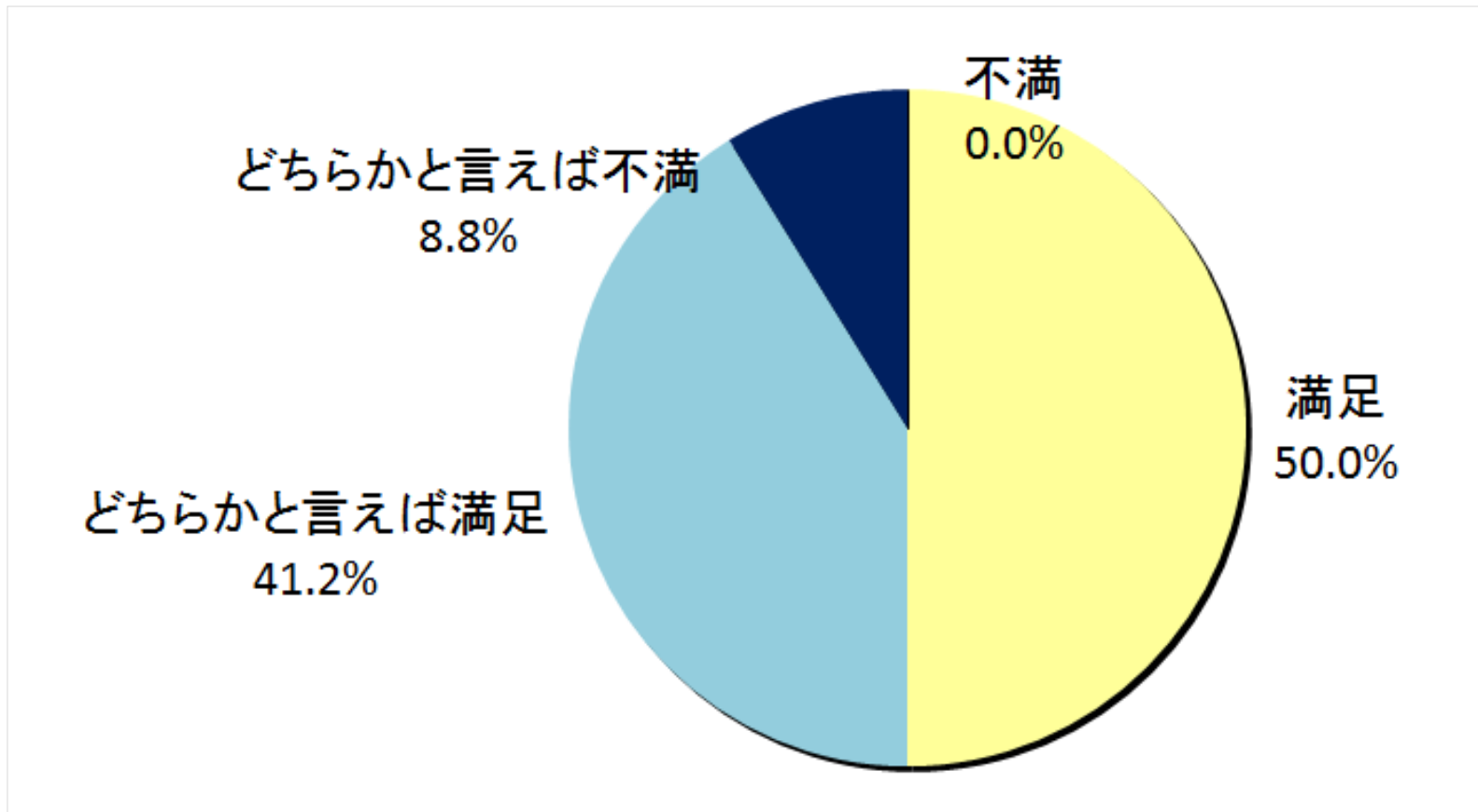
gacco「日本中世の自由と平等」(60代男性)	プログラミング(20代男性)
gacco(東京大学?)の日本中世史(50代男性)	プログラミング(20代男性)
日本中世の自由と平等(50代男性)	インターネット講座(60代男性)
gacco主催の歴史の講座(40代女性)	インターネット(20代女性)
gacco(20代女性)	南山大学 CFP講座(50代男性)
慶応大学。インターネットの構造ないし意義等(20代女性)	横浜国立大学教育(50代女性)
慶応大学のインターネット(40代男性)	近畿大学(30代女性)
慶応大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代男性)
慶応義塾大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代女性)
早稲田英会話(50代女性)	東北大学文学科(10代女性)
英会話(40代男性)	日本史(30代男性)
英会話(40代女性)	エジプト考古学について(40代男性)
英語(40代女性)	データサイエンティスト講座(50代男性)
ネットで英会話(30代男性)	オンラインブログの開き方(30代男性)
英語(20代女性)	ビジネス(40代女性)
国内。早稲田大学。(40代男性)	日本史, 教養(40代男性)
早稲田大学(30代男性)	ハワイ大学(30代女性)

N=34

- ・JMOOC公認の配信プラットフォーム「gacco」の受講者が多い。
- ・講座内容は、歴史からインターネット、プログラミング、英会話など。
- ・大学は東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学が中心。海外ではハワイ大学が挙げられている。

■設問2

受講満足度はどれくらいですか？またその理由をお答えください。



N=34

・「満足」「どちらかと言えば満足」が合わせて91.2%。受講者の満足度は極めて高い。

受講満足度	理由
満足	値段の割に内容があったから(30代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	便利なので(50代男性)
	おもしろかった(10代女性)
	興味深い知識を入手することが出来た(40代男性)
	充実した内容だった(30代女性)
	興味深かった(40代女性)
	内容が良かった(30代男性)
	わかりやすいから(40代女性)
	ためになったので(30代女性)
	わかりやすかった(40代女性)
	良いから(20代女性)
	良かった(30代女性)
	面白いから(20代男性)
	詳しくわかりやすい(20代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	知的好奇心が刺激されるから(40代男性)
	わからないことがわかった。不安がなくなった。(50代女性)

N=34

- ・「興味深い知識を入手することができた」「カリキュラムが良かった」「わかりやすかった」という意見がほとんどである。

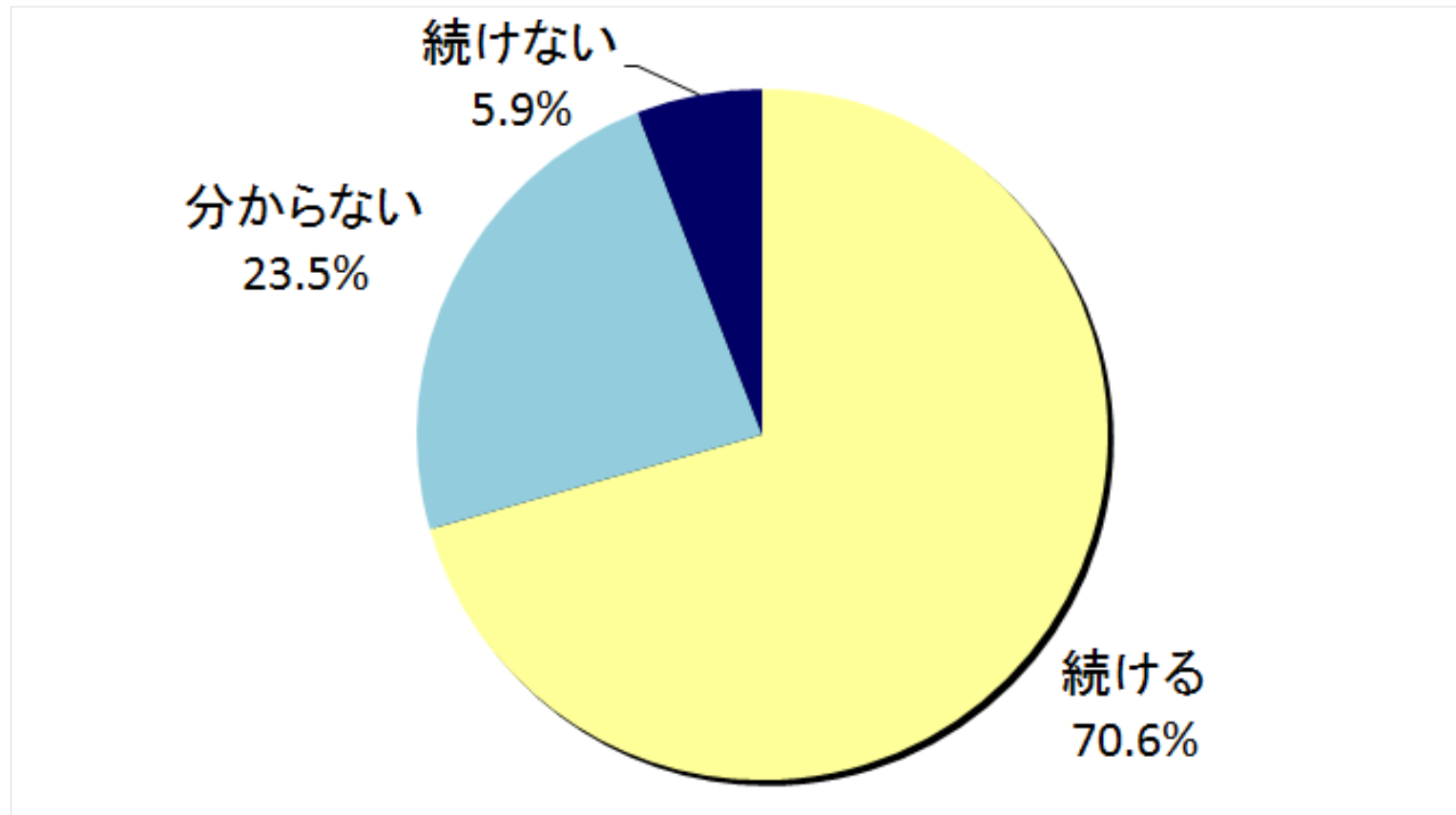
受講満足度	理由
どちらかと言えば 満足	都合のいい時に受講できる(60代男性)
	資格が無事取れたから(50代男性)
	日本においてはまだ始まったばかりのサービスであり、選択できる講座数が限られているも、手軽にネットで参加できるのは便利と思うので(20代女性)
	教科書には書いていない事が多くて面白いから。(20代女性)
	話がおもしろかったので(50代男性)
	多少わかりにくい所があったが、本を読むよりかは理解できた。(30代男性)
	歴史の違う面を勉強でき、おもしろかった(50代男性)
	ためになった(50代女性)
	難易度が高過ぎる(40代男性)
	受けやすい(20代女性)
	受講内容が濃密でよかった(40代男性)
	講義内容が我々の過去の常識とかなり異なる(60代男性)
	良くわからなかったが、有意義だったので。(30代男性)
	わかりやすい(20代男性)
どちらかと言えば 不満	環境が悪い(40代男性)
	英語の授業だけだったから(20代男性)
	難しかった(30代男性)

N=34

- ・「都合のいい時に受講できる」「ネットで勉強できて便利」「資格が取れた」などが満足の理由。
- ・内容の難しさなど不満を感じているのは少数派のようだ。

■設問3

これからも受講を続けますか？その理由もお答えください。



N=34

- ・「続ける」が最多で70.6%。
- ・MOOCのリピーター率は高いと言える。

受講を続けるか	理由
続ける	興味のある分野の勉強がネットで手軽にできるので(20代女性)
	いつでもどこでもできるから(30代男性)
	面白いので可能な限り続けたい(20代男性)
	他にも色々知りたい事が出てきた(40代男性)
	知的刺激が素晴らしい(60代男性)
	役に立つので(50代男性)
	自分への投資(50代男性)
	教養を得られるのは、楽しいから(40代女性)
	お得だから(40代女性)
	楽しい(40代男性)
	スキルアップのため(40代男性)
	良かった(30代女性)
	面白かった(10代女性)
	興味のある講座があるから(20代男性)
	都合が合えばつづける。(30代男性)
	自己研鑽(40代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・「他にも知りたいことが出てきた」「教養を得られて楽しい」など、知的好奇心を刺激された回答者が継続的な受講を希望している。
- ・「ネットで手軽に勉強できる」「いつでもどこでもできる」という利便性も高く評価されている。

受講を続けるか	理由
分からない	いつでもできるということは、やらなくても過ぎてしまう(60代男性)
	金銭的負担が大きいから(30代女性)
	日本語か字幕がなければ内容を理解できないから(20代男性)
	興味が持てる講義があれば、その都度視聴手続きを取るかもしれない(50代男性)
	時間が取れないから。(30代男性)
	興味のある講座があれば受講する(50代男性)
	なし(50代女性)
続けない	値段が高い(20代男性)
	なし(40代男性)
	とくになし(30代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・継続受講をためらう理由は、「時間が取れない」「金銭的負担が大きい」「日本語か字幕がなければ理解できない」など。

■設問4

どのような講座を受講してみたいですか？希望大学名があれば併せてお答えください。

講座内容	大学名	回答者属性
英会話	大阪大学	(40代男性)
英語	東京外語大	(30代女性)
英語	東京大学	(60代女性)
イタリア語	東京外国語大学	(40代男性)
語学、IT	東京外国語大学、早稲田大学	(50代男性)
英会話心理学社会学	明治大学	(30代女性)
温暖化現象の世界規模対策	明治大学、筑波大学、北大	(50代女性)
発展途上国の教育向上における日本の役割、貢献	明治大学、明治学院大学	(30代女性)
歴史	ハーバード	(40代女性)
歴史(近世)古文書	三重大学奈良大学	(60代男性)
歴史や社会、グローバル化する情勢など	早稲田大学	(40代女性)
社会学	京都大学慶応大学	(60代男性)
社会学、経済学、生物学など、身近な内容の講座	東京大学・京都大学	(40代女性)
政治経済	慶応大学	(50代男性)
経済学	早稲田大学	(50代男性)
経済、マーケティング	名古屋大学経済学部	(60代男性)

N=33

- ・講座内容としては、語学や環境問題、コンピュータサイエンス、宇宙物理学、心理学など幅広い。
- ・大学名もさまざまな名前が挙げられている。

講座内容	大学名	回答者属性
音響工学、振動工学全般	MIT、ドレスデン工科大学	(40代男性)
環境問題・自然エネルギーに関する事	ハーバード大学	(30代女性)
金融工学	一ツ橋	(50代男性)
経営	京都産業大悪	(50代男性)
文化人類学、民俗学、古生物学	京都大学	(40代男性)
自然科学	近畿大学	(20代男性)
心理学	近畿大学	(40代女性)
園芸	慶応大	(60代女性)
法学	慶應義塾大学	(60代男性)
キャリアコンサルティング	産業能率大学	(50代男性)
自動車	早稲田	(60代男性)
恋愛学	早稲田大学	(20代女性)
ネゴシエーション、ゲーム理論、制度経済学、環境経済学	早稲田大学、京都大学	(20代女性)
コンピュータサイエンス	東京大学	(40代男性)
ビッグバンからダークエネルギーまで	東京大学	(20代女性)
宇宙物理学	東京大学	(20代女性)
東北大学	東北学院大学	(40代女性)

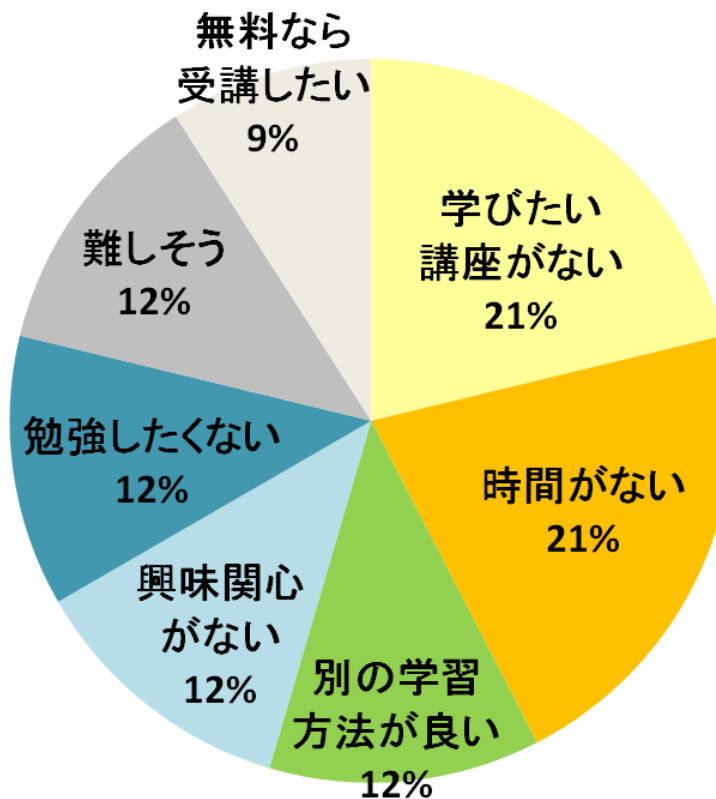
N=33

・海外の大学名も挙げられている。

MOOCに興味がない、受講したくないと回答した方へ

■設問5

MOOCに興味がない、受講したくないと答えた理由をお聞かせください。



N=33

- ・「学びたい講座がない」「時間がない」が最多でそれぞれ21%。
- ・学習自体に意欲や関心がない人、MOOCは知っているが詳細がわからない人も少なくないようだ。

学びたい講座がない	学びたい内容の講義がない(40代男性)
	関心のあるテーマがない。(50代男性)
	特に受けたいものが講座にないと思われる(50代男性)
	受けたい講座がないので(40代女性)
	今のところ、受けたい内容の講座がないから(40代女性)
	内容が不明(50代男性)
	講義の内容によってはぜひ受けたい。大規模公開オンライン講座でも個人指導でも、自分が受けたい、受けなければならない講座は受けます。(40代男性)
時間がない	時間がない(50代男性)
	時間がない(40代女性)
	今自分に興味あることだけで手いっぱいなので(50代女性)
	時間がない(30代女性)
	先ず時間が取れません。また自分の会社を経営しているので、これ以上資格には興味が無い。MOOCって、Twitterの方が向いていると思う。(50代男性)
	時間がとれません(40代女性)
	今は、仕事で手一杯だから！(40代男性)
別の学習方法が良い	オンラインだと飽きたらすぐにやめてしまうので、講座を受けるならリアルの方がよい(40代女性)
	書籍で独学が好みだから。(30代男性)
	対面式の個別レッスンが良いから。(40代女性)
	講義を受けるという形式が苦手。自分のペースにならないから。独学のほうがやりやすい(40代男性)

N=33

- ・受けたいと思う講座がない、仕事等で忙しく時間が取れないという意見が多い。
- ・対面式のリアル授業や本などによる独学が良いという声も見られた。

興味関心がない	そもそも関心がない(20代男性)
	興味があまりないから(20代女性)
	興味がないものに時間をかけたくない(30代女性)
	特に必要に感じないから(30代男性)
勉強したくない	勉強したくないので(40代男性)
	勉強が嫌いだから(20代女性)
	日ごろ利用することがないので受講したくない(50代女性)
	今以上、意欲的に行動を起こしたくない(60代男性)
難しそう	難しそう(20代男性)
	難しそうだから。(20代女性)
	難しそうなので(50代女性)
	難しそう(30代女性)
無料なら受講したい	高そうです(30代女性)
	有料だから(60代男性)
	無料でシンプルでない限り利用したくない(40代男性)

N=33

- ・学習自体に意欲や関心を持ってないという人も少なくない。
- ・一流大学の講座が学べる反面、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいるようだ。

■設問6

MOOCに今後期待すること、あるいは課題など、あなた自身の考えをお答えください。

無料なのが良い	無料だからどんどん試してみたい(60代女性)
	無料ならば便利だと思う。(20代女性)
	無料であることは、門戸が広がるので良いと思う！(40代男性)
	料金が高いと受けにくい。(50代男性)
日本版に期待	英語が最大のネック。しかしながら、この年齢になると尚更学習したいという欲求の高まりはあるので、日本版の拡大には期待をしている。(40代女性)
	日本語での講座が広まると関心が増すかもしれない。(20代男性)
	日本語でも開講してほしい(40代男性)
	日本版ができることに期待します(40代男性)
受講したい	より高度な知識を入手したい。(40代男性)
	どのサイトで講座が受講できるのか教えて欲しい。(20代女性)
	この機会に勉強したい(60代女性)
	海外講座を受講できるようになりたい。(50代男性)
語学学習に利用したい	英語の勉強のつもりで、さらに学んでみたい。手軽さが何より気楽で、さらに良い(40代女性)
	英語が身近になるのは良いことだと思う。(40代女性)
	英語を勉強したい。無料の講座に期待。(30代男性)
受験・就職等に活かしたい	卒業証書が社会で役に立つシステムを構築してほしい(40代男性)
	履歴書に書けるようなこと(40代男性)

一部抜粋

- ・「無料ならどんどん試したい」「日本版に期待したい」など、MOOCに対する期待は約4割に上った。
- ・修了証が就転職に生かせるなど、社会的に認められる仕組み作りへの期待も寄せられている。

講座の充実	より充実した内容の講座を期待したい。もっとターゲットを絞ってより詳しいマニアックな授業を見たい(30代女性)
	資格取得が可能になるような講座があると嬉しいです。(40代女性)
	定年退職者でも低料金で受講できて、司法試験や司法書士試験などの資格試験に挑戦できるような授業を受けたい。(60代男性)
	時間が短時間で区切られている講座(40代女性)
	大学を増やしてもらいたい(20代男性)
認知度が低い	広告の拡大。なかなか知ることができないから(30代女性)
	もっと世間に知られて欲しい(40代男性)
	新聞などで大きく取り上げ、もっと一般の人でも入りやすいようにしてほしい。(30代女性)
	もう既に存在するのかもしれないが、いろんなサイトのシラバスまとめサイト(メタサイト)があれば助かるが。(50代男性)
オンデマンド受講	オンデマンド方式の講座配信を望む(60代男性)
	都合のよい時間に受講できる(今もできる?)ようになれば良い。(40代男性)
その他の課題	無料で修了証ももらえたら、わざわざ外に出て学ぼうとはなくなるのでは(20代女性)
	いつでも見れるからいいかと思って続かないことがある。(30代男性)
	TEDのような間口の広さ(50代女性)
	質問・アドバイスなどのフォローが充実していること。(60代男性)
	仮想空間のサービスは信用できない。(60代男性)
	誰にでもわかるようにしてほしい(30代女性)

一部抜粋

- ・課題としては「講座の充実」を挙げる人が全体の2割以上で多かった。
- ・指摘されている認知度の低さが解消されれば、MOOC受講者はさらに増える可能性がある。

G T 表

■設問1

どのような講座を受講しましたか？（複数回答可）

【国内・海外別】

		N	%
全体		34	100.0%
1	国内	34	100.0%
2	国外	2	5.9%

- ・受講経験者の100%が国内の日本版MOOC(JMOOC)を受講している。
- ・海外のMOOC受講者も5.9%。

【受講した大学名・講座内容】

gacco「日本中世の自由と平等」(60代男性)	プログラミング(20代男性)
gacco(東京大学?)の日本中世史(50代男性)	プログラミング(20代男性)
日本中世の自由と平等(50代男性)	インターネット講座(60代男性)
gacco主催の歴史の講座(40代女性)	インターネット(20代女性)
gacco(20代女性)	南山大学 CFP講座(50代男性)
慶応大学。インターネットの構造ないし意義等(20代女性)	横浜国立大学教育(50代女性)
慶応大学のインターネット(40代男性)	近畿大学(30代女性)
慶応大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代男性)
慶応義塾大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代女性)
早稲田英会話(50代女性)	東北大学文学科(10代女性)
英会話(40代男性)	日本史(30代男性)
英会話(40代女性)	エジプト考古学について(40代男性)
英語(40代女性)	データサイエンティスト講座(50代男性)
ネットで英会話(30代男性)	オンラインブログの開き方(30代男性)
英語(20代女性)	ビジネス(40代女性)
国内。早稲田大学。(40代男性)	日本史, 教養(40代男性)
早稲田大学(30代男性)	ハワイ大学(30代女性)

N=34

- ・JMOOC公認の配信プラットフォーム「gacco」の受講者が多い。
- ・講座内容は、歴史からインターネット、プログラミング、英会話など。
- ・大学は東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学が中心。海外ではハワイ大学が挙げられている。

■設問2

受講満足度はどれくらいですか？またその理由をお答えください。

		N	%
全体		34	100.0%
1	満足	17	50.0%
2	どちらかと言えば満足	14	41.2%
3	どちらかと言えば不満	3	8.8%
4	不満	0	0.0%

・「満足」「どちらかと言えば満足」が合わせて91.2%。受講者の満足度は極めて高い。

受講満足度	理由
満足	値段の割に内容があったから(30代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	便利なので(50代男性)
	おもしろかった(10代女性)
	興味深い知識を入手することが出来た(40代男性)
	充実した内容だった(30代女性)
	興味深かった(40代女性)
	内容が良かった(30代男性)
	わかりやすいから(40代女性)
	ためになったので(30代女性)
	わかりやすかった(40代女性)
	良いから(20代女性)
	良かった(30代女性)
	面白いから(20代男性)
	詳しくわかりやすい(20代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	知的好奇心が刺激されるから(40代男性)
	わからないことがわかった。不安がなくなった。(50代女性)

N=34

・「カリキュラムが良かった」「わかりやすかった」という意見がほとんどである。

受講満足度	理由
どちらかと言えば 満足	都合のいい時に受講できる(60代男性)
	資格が無事取れたから(50代男性)
	日本においてはまだ始まったばかりのサービスであり、選択できる講座数が限られているも、手軽にネットで参加できるのは便利と思うので(20代女性)
	教科書には書いていない事が多くて面白いから。(20代女性)
	話がおもしろかったので(50代男性)
	多少わかりにくい所があったが、本を読むよりかは理解できた。(30代男性)
	歴史の違う面を勉強でき、おもしろかった(50代男性)
	ためになった(50代女性)
	難易度が高過ぎる(40代男性)
	受けやすい(20代女性)
	受講内容が濃密でよかった(40代男性)
	講義内容が我々の過去の常識とかなり異なる(60代男性)
	良くわからなかったが、有意義だったので。(30代男性)
	わかりやすい(20代男性)
どちらかと言えば 不満	環境が悪い(40代男性)
	英語の授業だけだったから(20代男性)
	難しかった(30代男性)

N=34

- ・「都合のいい時に受講できる」「ネットで勉強できて便利」「資格が取れた」などが満足の理由。
- ・内容の難しさなど不満を感じているのは少数派のようだ。

■設問3

これからも受講を続けますか？その理由もお答えください。

		N	%
全体		34	100.0%
1	続ける	24	70.6%
2	分からない	8	23.5%
3	続けない	2	5.9%

- ・「続ける」が最多で70.6%。
- ・MOOCのリピーター率は高いと言える。

受講を続けるか	理由
続ける	興味のある分野の勉強がネットで手軽にできるので(20代女性)
	いつでもどこでもできるから(30代男性)
	面白いので可能な限り続けたい(20代男性)
	他にも色々知りたい事が出てきた(40代男性)
	知的刺激が素晴らしい(60代男性)
	役に立つので(50代男性)
	自分への投資(50代男性)
	教養を得られるのは、楽しいから(40代女性)
	お得だから(40代女性)
	楽しい(40代男性)
	スキルアップのため(40代男性)
	良かった(30代女性)
	面白かった(10代女性)
	興味のある講座があるから(20代男性)
	都合が合えばつづける。(30代男性)
	自己研鑽(40代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・「他にも知りたいことが出てきた」「教養を得られて楽しい」など、知的好奇心を刺激された回答者が継続的な受講を希望している。
- ・「ネットで手軽に勉強できる」「いつでもどこでもできる」という利便性も高く評価されている。

受講を続けるか	理由
分からない	いつでもできるということは、やらなくても過ぎてしまう(60代男性)
	金銭的負担が大きいから(30代女性)
	日本語か字幕がなければ内容を理解できないから(20代男性)
	興味が持てる講義があれば、その都度視聴手続きを取るかもしれない(50代男性)
	時間が取れないから。(30代男性)
	興味のある講座があれば受講する(50代男性)
	なし(50代女性)
続けない	値段が高い(20代男性)
	なし(40代男性)
	とくになし(30代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・継続受講をためらう理由は、「時間が取れない」「金銭的負担が大きい」「日本語でなければ理解できない」など。

■設問4

どのような講座を受講してみたいですか？希望大学名があれば併せてお答えください。

講座内容	大学名	回答者属性
英会話	大阪大学	(40代男性)
英語	東京外語大	(30代女性)
英語	東京大学	(60代女性)
イタリア語	東京外国語大学	(40代男性)
語学、IT	東京外国語大学、早稲田大学	(50代男性)
英会話心理学社会学	明治大学	(30代女性)
温暖化現象の世界規模対策	明治大学、筑波大学、北大	(50代女性)
発展途上国の教育向上における日本の役割、貢献	明治大学、明治学院大学	(30代女性)
歴史	ハーバード	(40代女性)
歴史(近世)古文書	三重大学奈良大学	(60代男性)
歴史や社会、グローバル化する情勢など	早稲田大学	(40代女性)
社会学	京都大学慶応大学	(60代男性)
社会学、経済学、生物学など、身近な内容の講座	東京大学・京都大学	(40代女性)
政治経済	慶応大学	(50代男性)
経済学	早稲田大学	(50代男性)
経済、マーケティング	名古屋大学経済学部	(60代男性)

N=33

- ・講座内容としては、語学や環境問題、コンピュータサイエンス、宇宙物理学、心理学など幅広い。
- ・大学名もさまざまな名前が挙げられている。

講座内容	大学名	回答者属性
音響工学、振動工学全般	MIT、ドレスデン工科大学	(40代男性)
環境問題・自然エネルギーに関する事	ハーバード大学	(30代女性)
金融工学	一ツ橋	(50代男性)
経営	京都産業大悪	(50代男性)
文化人類学、民俗学、古生物学	京都大学	(40代男性)
自然科学	近畿大学	(20代男性)
心理学	近畿大学	(40代女性)
園芸	慶応大	(60代女性)
法学	慶應義塾大学	(60代男性)
キャリアコンサルティング	産業能率大学	(50代男性)
自動車	早稲田	(60代男性)
恋愛学	早稲田大学	(20代女性)
ネゴシエーション、ゲーム理論、制度経済学、環境経済学	早稲田大学、京都大学	(20代女性)
コンピュータサイエンス	東京大学	(40代男性)
ビッグバンからダークエネルギーまで	東京大学	(20代女性)
宇宙物理学	東京大学	(20代女性)
東北大学	東北学院大学	(40代女性)

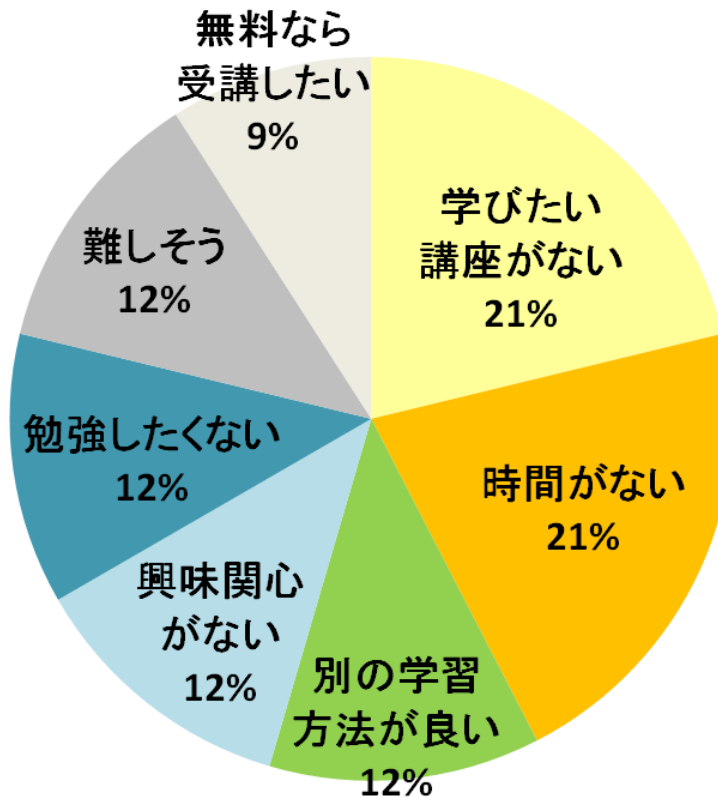
N=33

・海外の大学名も挙げられている。

MOOCに興味がない、受講したくないと回答した方へ

■設問5

MOOCに興味がない、受講したくないと答えた理由をお聞かせください。



N=33

- ・「学びたい講座がない」「時間がない」が最多でそれぞれ21%。
- ・学習自体に意欲や関心がない人、MOOCは知っているが詳細がわからない人も少なくないようだ。

学びたい講座がない	学びたい内容の講義がない(40代男性)
	関心のあるテーマがない。(50代男性)
	特に受けたいものが講座にないと思われる(50代男性)
	受けたい講座がないので(40代女性)
	今のところ、受けたい内容の講座がないから(40代女性)
	内容が不明(50代男性)
	講義の内容によってはぜひ受けたい。大規模公開オンライン講座でも個人指導でも、自分が受けたい、受けなければならない講座は受けます。(40代男性)
時間がない	時間がない(50代男性)
	時間がない(40代女性)
	今自分に興味あることだけで手いっぱいなので(50代女性)
	時間がない(30代女性)
	先ず時間が取れません。また自分の会社を経営しているので、これ以上資格には興味が無い。MOOCって、Twitterの方が向いていると思う。(50代男性)
	時間がとれません(40代女性)
	今は、仕事で手一杯だから！(40代男性)
別の学習方法が良い	オンラインだと飽きたらすぐにやめてしまうので、講座を受けるならリアルの方がよい(40代女性)
	書籍で独学が好みだから。(30代男性)
	対面式の個別レッスンが良いから。(40代女性)
	講義を受けるという形式が苦手。自分のペースにならないから。独学のほうがやりやすい(40代男性)

N=33

- ・受けたいと思う講座がない、仕事等で忙しく時間が取れないという意見が多い。
- ・対面式のリアル授業や本などによる独学が良いという声も見られた。

興味関心がない	そもそも関心がない(20代男性)
	興味があまりないから(20代女性)
	興味がないものに時間をかけたくない(30代女性)
	特に必要に感じないから(30代男性)
勉強したくない	勉強したくないので(40代男性)
	勉強が嫌いだから(20代女性)
	日ごろ利用することがないので受講したくない(50代女性)
	今以上、意欲的に行動を起こしたくない(60代男性)
難しそう	難しそう(20代男性)
	難しそうだから。(20代女性)
	難しそうなので(50代女性)
	難しそう(30代女性)
無料なら受講したい	高そうです(30代女性)
	有料だから(60代男性)
	無料でシンプルでない限り利用したくない(40代男性)

N=33

- ・学習自体に意欲や関心を持ってないという人も少なくない。
- ・一流大学の講座が学べる反面、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいるようだ。

■設問6

MOOCに今後期待すること、あるいは課題など、あなた自身の考えをお答えください。

無料なのが良い	無料だからどんどん試してみたい(60代女性)
	無料ならば便利だと思う。(20代女性)
	無料であることは、門戸が広がるので良いと思う！(40代男性)
	料金が高いと受けにくい。(50代男性)
日本版に期待	英語が最大のネック。しかしながら、この年齢になると尚更学習したいという欲求の高まりはあるので、日本版の拡大には期待をしている。(40代女性)
	日本語での講座が広まると関心が増すかもしれない。(20代男性)
	日本語でも開講してほしい(40代男性)
	日本版ができることに期待します(40代男性)
受講したい	より高度な知識を入手したい。(40代男性)
	どのサイトで講座が受講できるのか教えて欲しい。(20代女性)
	この機会に勉強したい(60代女性)
	海外講座を受講できるようになりたい。(50代男性)
語学学習に利用したい	英語の勉強のつもりで、さらに学んでみたい。手軽さが何より気楽で、さらに良い(40代女性)
	英語が身近になるのは良いことだと思う。(40代女性)
	英語を勉強したい。無料の講座に期待。(30代男性)
受験・就職等に活かしたい	卒業証書が社会で役に立つシステムを構築してほしい(40代男性)
	履歴書に書けるようなこと(40代男性)

一部抜粋

- ・「無料ならどんどん試したい」「日本版に期待したい」など、MOOCに対する期待は約4割に上った。
- ・修了証が就転職に生かせるなど、社会的に認められる仕組み作りへの期待も寄せられている。

講座の充実	より充実した内容の講座を期待したい。もっとターゲットを絞ってより詳しいマニアックな授業を見たい(30代女性)
	資格取得が可能になるような講座があると嬉しいです。(40代女性)
	定年退職者でも低料金で受講できて、司法試験や司法書士試験などの資格試験に挑戦できるような授業を受けたい。(60代男性)
	時間が短時間で区切られている講座(40代女性)
	大学を増やしてもらいたい(20代男性)
認知度が低い	広告の拡大。なかなか知ることができないから(30代女性)
	もっと世間に知られて欲しい(40代男性)
	新聞などで大きく取り上げ、もっと一般の人でも入りやすいようにしてほしい。(30代女性)
	もう既に存在するのかもしれないが、いろんなサイトのシラバスまとめサイト(メタサイト)があれば助かるが。(50代男性)
オンデマンド受講	オンデマンド方式の講座配信を望む(60代男性)
	都合のよい時間に受講できる(今もできる?)ようになれば良い。(40代男性)
その他の課題	無料で修了証ももらえたら、わざわざ外に出て学ぼうとはなくなるのでは(20代女性)
	いつでも見れるからいいかと思って続かないことがある。(30代男性)
	TEDのような間口の広さ(50代女性)
	質問・アドバイスなどのフォローが充実していること。(60代男性)
	仮想空間のサービスは信用できない。(60代男性)
	誰にでもわかるようにしてほしい(30代女性)

一部抜粋

- ・課題としては「講座の充実」を挙げる人が全体の2割以上で多かった。
- ・指摘されている認知度の低さが解消されれば、MOOC受講者はさらに増える可能性がある。

【受講した大学名・講座内容】

gacco「日本中世の自由と平等」(60代男性)	プログラミング(20代男性)
gacco(東京大学?)の日本中世史(50代男性)	プログラミング(20代男性)
日本中世の自由と平等(50代男性)	インターネット講座(60代男性)
gacco主催の歴史の講座(40代女性)	インターネット(20代女性)
gacco(20代女性)	南山大学 CFP講座(50代男性)
慶応大学。インターネットの構造ないし意義等(20代女性)	横浜国立大学教育(50代女性)
慶応大学のインターネット(40代男性)	近畿大学(30代女性)
慶応大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代男性)
慶応義塾大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代女性)
早稲田英会話(50代女性)	東北大学文学科(10代女性)
英会話(40代男性)	日本史(30代男性)
英会話(40代女性)	エジプト考古学について(40代男性)
英語(40代女性)	データサイエンティスト講座(50代男性)
ネットで英会話(30代男性)	オンラインブログの開き方(30代男性)
英語(20代女性)	ビジネス(40代女性)
国内。早稲田大学。(40代男性)	日本史, 教養(40代男性)
早稲田大学(30代男性)	ハワイ大学(30代女性)

N=34

- ・やる気が出ない科目上位は「英語・外国語」「地理歴史」「理科」。
- ・やる気が出る科目と同様、バラつきが見られる。

クロス表

■設問1

どのような講座を受講しましたか？（複数回答可）

【国内・海外別】		全体	1 国内	2 国外
全体		34 100.0%	34 100.0%	2 5.9%
男性		20 100.0%	20 100.0%	— —
男性	10代	— —	— —	— —
	20代	4 100.0%	4 100.0%	— —
	30代	5 100.0%	5 100.0%	— —
	40代	5 100.0%	5 100.0%	— —
	50代	4 100.0%	4 100.0%	— —
	60代	2 100.0%	2 100.0%	— —
女性		14 100.0%	14 100.0%	2 14.3%
女性	10代	1 100.0%	1 100.0%	— —
	20代	4 100.0%	4 100.0%	1 25.0%
	30代	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%
	40代	4 100.0%	4 100.0%	— —
	50代	2 100.0%	2 100.0%	— —
	60代	— —	— —	— —

・受講経験者の100%が国内の日本版MOOC(JMOOC)を受講している。

・海外のMOOC受講者はすべて女性。

【受講した大学名・講座内容】

gacco「日本中世の自由と平等」(60代男性)	プログラミング(20代男性)
gacco(東京大学?)の日本中世史(50代男性)	プログラミング(20代男性)
日本中世の自由と平等(50代男性)	インターネット講座(60代男性)
gacco主催の歴史の講座(40代女性)	インターネット(20代女性)
gacco(20代女性)	南山大学 CFP講座(50代男性)
慶応大学。インターネットの構造ないし意義等(20代女性)	横浜国立大学教育(50代女性)
慶応大学のインターネット(40代男性)	近畿大学(30代女性)
慶応大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代男性)
慶応義塾大学 インターネット(20代男性)	東京大学(30代女性)
早稲田英会話(50代女性)	東北大学文学科(10代女性)
英会話(40代男性)	日本史(30代男性)
英会話(40代女性)	エジプト考古学について(40代男性)
英語(40代女性)	データサイエンティスト講座(50代男性)
ネットで英会話(30代男性)	オンラインブログの開き方(30代男性)
英語(20代女性)	ビジネス(40代女性)
国内。早稲田大学。(40代男性)	日本史, 教養(40代男性)
早稲田大学(30代男性)	ハワイ大学(30代女性)

N=34

- ・JMOOC公認の配信プラットフォーム「gacco」の受講者が多い。
- ・講座内容は、歴史からインターネット、プログラミング、英会話など。
- ・大学は東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学が中心。海外ではハワイ大学が挙げられている。

■設問2

受講満足度はどれくらいですか？またその理由をお答えください。

		全体	1 満足	2 言ど えち ばら 満か 足と	3 言ど えち ばら 不 満と	4 不 満
全体		34 100.0%	17 50.0%	14 41.2%	3 8.8%	—
男性		20 100.0%	7 35.0%	10 50.0%	3 15.0%	—
男性	10代	—	—	—	—	—
	20代	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	—
	30代	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	—
	40代	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	—
	50代	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	—	—
	60代	2 100.0%	—	2 100.0%	—	—
女性		14 100.0%	10 71.4%	4 28.6%	—	—
女性	10代	1 100.0%	1 100.0%	—	—	—
	20代	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	—	—
	30代	3 100.0%	3 100.0%	—	—	—
	40代	4 100.0%	4 100.0%	—	—	—
	50代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	—	—
	60代	—	—	—	—	—

・「満足」「どちらかと言えは満足」
が合わせて91.2%。

・受講者の満足度は極めて高い。

・とくに女性の満足度が高い。

受講満足度	理由
満足	値段の割に内容があったから(30代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	便利なので(50代男性)
	おもしろかった(10代女性)
	興味深い知識を入手することが出来た(40代男性)
	充実した内容だった(30代女性)
	興味深かった(40代女性)
	内容が良かった(30代男性)
	わかりやすいから(40代女性)
	ためになったので(30代女性)
	わかりやすかった(40代女性)
	良いから(20代女性)
	良かった(30代女性)
	面白いから(20代男性)
	詳しくわかりやすい(20代男性)
	カリキュラムが良かった(40代女性)
	知的好奇心が刺激されるから(40代男性)
	わからないことがわかった。不安がなくなった。(50代女性)

N=34

・「カリキュラムが良かった」「わかりやすかった」という意見がほとんどである。

受講満足度	理由
どちらかと言えば 満足	都合のいい時に受講できる(60代男性)
	資格が無事取れたから(50代男性)
	日本においてはまだ始まったばかりのサービスであり、選択できる講座数が限られているも、手軽にネットで参加できるのは便利と思うので(20代女性)
	教科書には書いていない事が多くて面白いから。(20代女性)
	話がおもしろかったので(50代男性)
	多少わかりにくい所があったが、本を読むよりかは理解できた。(30代男性)
	歴史の違う面を勉強でき、おもしろかった(50代男性)
	ためになった(50代女性)
	難易度が高過ぎる(40代男性)
	受けやすい(20代女性)
	受講内容が濃密でよかった(40代男性)
	講義内容が我々の過去の常識とかなり異なる(60代男性)
	良くわからなかったが、有意義だったので。(30代男性)
	わかりやすい(20代男性)
どちらかと言えば 不満	環境が悪い(40代男性)
	英語の授業だけだったから(20代男性)
	難しかった(30代男性)

N=34

- ・「都合のいい時に受講できる」「ネットで勉強できて便利」「資格が取れた」などが満足の理由。
- ・内容の難しさなど不満を感じているのは少数派のようだ。

■設問3

これからも受講を続けますか？その理由もお答えください。

		全体	1 続ける	2 分 か ら な い	3 続 け な い
全体		34 100.0%	24 70.6%	8 23.5%	2 5.9%
男性		20 100.0%	12 60.0%	6 30.0%	2 10.0%
男性	10代	— —	— —	— —	— —
	20代	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	— —
	30代	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%
	40代	5 100.0%	4 80.0%	— —	1 20.0%
	50代	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	— —
	60代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	— —
女性		14 100.0%	12 85.7%	2 14.3%	— —
女性	10代	1 100.0%	1 100.0%	— —	— —
	20代	4 100.0%	4 100.0%	— —	— —
	30代	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	— —
	40代	4 100.0%	4 100.0%	— —	— —
	50代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	— —
	60代	— —	— —	— —	— —

・「続ける」が最多で70.6%。

・女性の85.7%が「続ける」と回答している。

・MOOCのリピーター率は高いと言える。

受講を続けるか	理由
続ける	興味のある分野の勉強がネットで手軽にできるので(20代女性)
	いつでもどこでもできるから(30代男性)
	面白いので可能な限り続けたい(20代男性)
	他にも色々知りたい事が出てきた(40代男性)
	知的刺激が素晴らしい(60代男性)
	役に立つので(50代男性)
	自分への投資(50代男性)
	教養を得られるのは、楽しいから(40代女性)
	お得だから(40代女性)
	楽しい(40代男性)
	スキルアップのため(40代男性)
	良かった(30代女性)
	面白かった(10代女性)
	興味のある講座があるから(20代男性)
	都合が合えばつづける。(30代男性)
	自己研鑽(40代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・「他にも知りたいことが出てきた」「教養を得られて楽しい」など、知的好奇心を刺激された回答者が継続的な受講を希望している。
- ・「ネットで手軽に勉強できる」「いつでもどこでもできる」という利便性も高く評価されている。

受講を続けるか	理由
分からない	いつでもできるということは、やらなくても過ぎてしまう(60代男性)
	金銭的負担が大きいから(30代女性)
	日本語か字幕がなければ内容を理解できないから(20代男性)
	興味が持てる講義があれば、その都度視聴手続きを取るかもしれない(50代男性)
	時間が取れないから。(30代男性)
	興味のある講座があれば受講する(50代男性)
	なし(50代女性)
続けない	値段が高い(20代男性)
	なし(40代男性)
	とくになし(30代男性)

N=34 (一部抜粋)

- ・継続受講をためらう理由は、「時間が取れない」「金銭的負担が大きい」「日本語でなければ理解できない」など。

■設問4

どのような講座を受講してみたいですか？希望大学名があれば併せてお答えください。

講座内容	大学名	回答者属性
英会話	大阪大学	(40代男性)
英語	東京外語大	(30代女性)
英語	東京大学	(60代女性)
イタリア語	東京外国語大学	(40代男性)
語学、IT	東京外国語大学、早稲田大学	(50代男性)
英会話心理学社会学	明治大学	(30代女性)
温暖化現象の世界規模対策	明治大学、筑波大学、北大	(50代女性)
発展途上国の教育向上における日本の役割、貢献	明治大学、明治学院大学	(30代女性)
歴史	ハーバード	(40代女性)
歴史(近世)古文書	三重大学奈良大学	(60代男性)
歴史や社会、グローバル化する情勢など	早稲田大学	(40代女性)
社会学	京都大学慶応大学	(60代男性)
社会学、経済学、生物学など、身近な内容の講座	東京大学・京都大学	(40代女性)
政治経済	慶応大学	(50代男性)
経済学	早稲田大学	(50代男性)
経済、マーケティング	名古屋大学経済学部	(60代男性)

N=33

- ・講座内容としては、語学や環境問題、コンピュータサイエンス、宇宙物理学、心理学など幅広い。
- ・大学名もさまざまな名前が挙げられている。

講座内容	大学名	回答者属性
音響工学、振動工学全般	MIT、ドレスデン工科大学	(40代男性)
環境問題・自然エネルギーに関する事	ハーバード大学	(30代女性)
金融工学	一ツ橋	(50代男性)
経営	京都産業大悪	(50代男性)
文化人類学、民俗学、古生物学	京都大学	(40代男性)
自然科学	近畿大学	(20代男性)
心理学	近畿大学	(40代女性)
園芸	慶応大	(60代女性)
法学	慶應義塾大学	(60代男性)
キャリアコンサルティング	産業能率大学	(50代男性)
自動車	早稲田	(60代男性)
恋愛学	早稲田大学	(20代女性)
ネゴシエーション、ゲーム理論、制度経済学、環境経済学	早稲田大学、京都大学	(20代女性)
コンピュータサイエンス	東京大学	(40代男性)
ビッグバンからダークエネルギーまで	東京大学	(20代女性)
宇宙物理学	東京大学	(20代女性)
東北大学	東北学院大学	(40代女性)

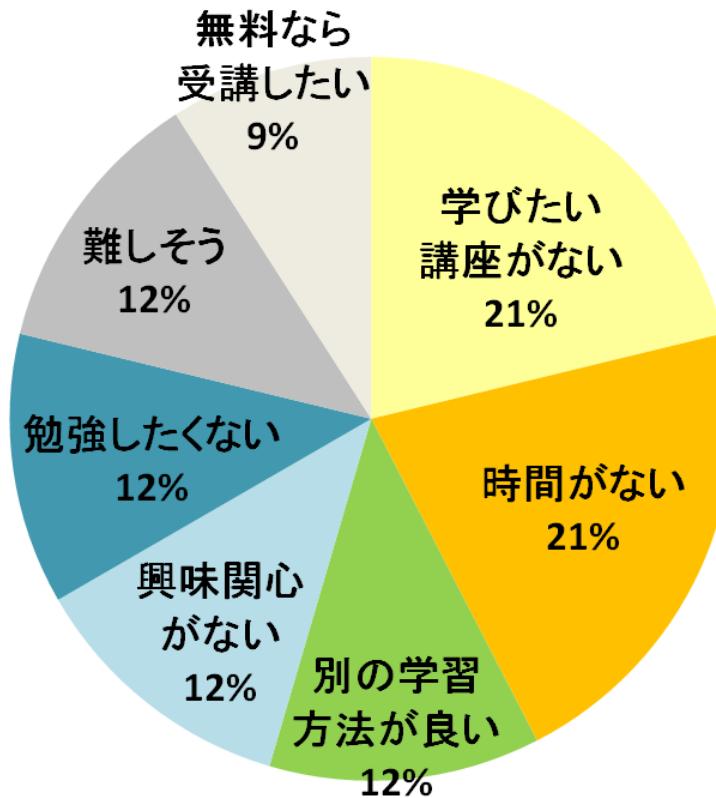
N=33

・海外の大学名も挙げられている。

MOOCに興味がない、受講したくないと回答した方へ

■設問5

MOOCに興味がない、受講したくないと答えた理由をお聞かせください。



N=33

- ・「学びたい講座がない」「時間がない」が最多でそれぞれ21%。
- ・学習自体に意欲や関心がない人、MOOCは知っているが詳細がわからない人も少なくないようだ。

学びたい講座がない	学びたい内容の講義がない(40代男性)
	関心のあるテーマがない。(50代男性)
	特に受けたいものが講座にないと思われる(50代男性)
	受けたい講座がないので(40代女性)
	今のところ、受けたい内容の講座がないから(40代女性)
	内容が不明(50代男性)
	講義の内容によってはぜひ受けたい。大規模公開オンライン講座でも個人指導でも、自分が受けたい、受けなければならない講座は受けます。(40代男性)
時間がない	時間がない(50代男性)
	時間がない(40代女性)
	今自分に興味あることだけで手いっぱいなので(50代女性)
	時間がない(30代女性)
	先ず時間が取れません。また自分の会社を経営しているので、これ以上資格には興味が無い。MOOCって、Twitterの方が向いていると思う。(50代男性)
	時間がとれません(40代女性)
	今は、仕事で手一杯だから！(40代男性)
別の学習方法が良い	オンラインだと飽きたらすぐにやめてしまうので、講座を受けるならリアルの方がよい(40代女性)
	書籍で独学が好みだから。(30代男性)
	対面式の個別レッスンが良いから。(40代女性)
	講義を受けるという形式が苦手。自分のペースにならないから。独学のほうがやりやすい(40代男性)

N=33

- ・受けたいと思う講座がない、仕事等で忙しく時間が取れないという意見が多い。
- ・対面式のリアル授業や本などによる独学が良いという声も見られた。

MOOCに興味がない、受講したくないと回答した方へ

興味関心がない	そもそも関心がない(20代男性)
	興味があまりないから(20代女性)
	興味がないものに時間をかけたくない(30代女性)
	特に必要に感じないから(30代男性)
勉強したくない	勉強したくないので(40代男性)
	勉強が嫌いだから(20代女性)
	日ごろ利用することがないので受講したくない(50代女性)
	今以上、意欲的に行動を起こしたくない(60代男性)
難しそう	難しそう(20代男性)
	難しそうだから。(20代女性)
	難しそうなので(50代女性)
	難しそう(30代女性)
無料なら受講したい	高そうです(30代女性)
	有料だから(60代男性)
	無料でシンプルでない限り利用したくない(40代男性)

N=33

- ・学習自体に意欲や関心を持ってないという人も少なくない。
- ・一流大学の講座が学べる反面、「難しそう」「高そう」というイメージを持つ人もいるようだ。

■設問6

MOOCに今後期待すること、あるいは課題など、あなた自身の考えをお答えください。

無料なのが良い	無料だからどんどん試してみたい(60代女性)
	無料ならば便利だと思う。(20代女性)
	無料であることは、門戸が広がるので良いと思う！(40代男性)
	料金が高いと受けにくい。(50代男性)
日本版に期待	英語が最大のネック。しかしながら、この年齢になると尚更学習したいという欲求の高まりはあるので、日本版の拡大には期待をしている。(40代女性)
	日本語での講座が広まると関心が増すかもしれない。(20代男性)
	日本語でも開講してほしい(40代男性)
	日本版ができることに期待します(40代男性)
受講したい	より高度な知識を入手したい。(40代男性)
	どのサイトで講座が受講できるのか教えて欲しい。(20代女性)
	この機会に勉強したい(60代女性)
	海外講座を受講できるようになりたい。(50代男性)
語学学習に利用したい	英語の勉強のつもりで、さらに学んでみたい。手軽さが何より気楽で、さらに良い(40代女性)
	英語が身近になるのは良いことだと思う。(40代女性)
	英語を勉強したい。無料の講座に期待。(30代男性)
受験・就職等に活かしたい	卒業証書が社会で役に立つシステムを構築してほしい(40代男性)
	履歴書に書けるようなこと(40代男性)

一部抜粋

- ・「無料ならどんどん試したい」「日本版に期待したい」など、MOOCに対する期待は約4割に上った。
- ・修了証が就転職に生かせるなど、社会的に認められる仕組み作りへの期待も寄せられている。

講座の充実	より充実した内容の講座を期待したい。もっとターゲットを絞ってより詳しいマニアックな授業を見たい(30代女性)
	資格取得が可能になるような講座があると嬉しいです。(40代女性)
	定年退職者でも低料金で受講できて、司法試験や司法書士試験などの資格試験に挑戦できるような授業を受けたい。(60代男性)
	時間が短時間で区切られている講座(40代女性)
	大学を増やしてもらいたい(20代男性)
認知度が低い	広告の拡大。なかなか知ることができないから(30代女性)
	もっと世間に知られて欲しい(40代男性)
	新聞などで大きく取り上げ、もっと一般の人でも入りやすいようにしてほしい。(30代女性)
	もう既に存在するのかもしれないが、いろんなサイトのシラバスまとめサイト(メタサイト)があれば助かるが。(50代男性)
オンデマンド受講	オンデマンド方式の講座配信を望む(60代男性)
	都合のよい時間に受講できる(今もできる?)ようになれば良い。(40代男性)
その他の課題	無料で修了証ももらえたら、わざわざ外に出て学ぼうとはなくなるのでは(20代女性)
	いつでも見れるからいいかと思って続かないことがある。(30代男性)
	TEDのような間口の広さ(50代女性)
	質問・アドバイスなどのフォローが充実していること。(60代男性)
	仮想空間のサービスは信用できない。(60代男性)
	誰にでもわかるようにしてほしい(30代女性)

一部抜粋

- ・課題としては「講座の充実」を挙げる人が全体の2割以上で多かった。
- ・指摘されている認知度の低さが解消されれば、MOOC受講者はさらに増える可能性がある。

MOOCに関する意識調査報告書

2014年8月発行

発行： 株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131／Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>